



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成29年02月20日 第807号「週刊五十嵐レポート」

猪全滅作戦

2月19日(日)の戦略社長塾東京・小岩校は、地域戦略の第4回「陶山訥庵(すやまとつあん)の戦略(猪全滅作戦)」の戦略(猪全滅作戦)。この猪全滅作戦は、ランチェスター経営の真髄です。江戸時代、対馬に8万頭の猪と2万人の人間が住み、猪による農作物の被害が甚大で、人は困っていました。そこで郡奉行の陶山訥庵が作戦を立案・実行して、9年で猪を全滅させました。

全滅作戦とは、1. 対馬を北の島を5つ、南の島を4つに区分。「細分化」。「大垣」とよぶ。2. 1つの大垣をさらに区分。「内垣」とよぶ。3. 1つの内垣の猪を全滅させ、一つひとつ内垣内を制圧し、1つの大垣の中の猪を全滅させる。4. 次の大垣を作り、その中に内垣を作り、同じやり方で猪を全滅。

5. 9年間同じやり方で猪を全滅。

手順は、「細分化」⇒「一点集中」⇒「部分制圧」⇒「各個撃破」⇒「全体制圧」。

実行の前に準備することは、1. 現場。実地調査。2. 必要な物資の計算。3. 村役人・名主向けに手引書(役割分担・仕事内容)を作成し、リーダーの役目を教育する。4. 農民向けに手引書(大垣の築く場所と大垣・内垣の作り方)を作成し、教育・訓練させる。

成功のポイントは、1. 必ず農民のためになるという固い信念。ビジョン。2. 信頼できる協力者を作る。3. 現地に行き、正確な情報を収集する。4. 緻密な計画書・手引書を作成する。5. 最後までやりとげる断行能力を持つ。

大垣や内垣を作っている間は、猪を捕獲することはできません。すぐには結果が出ません。固い信念がないと、心がブレます。安易に目先の利益を追い求め、計画が頓挫します。

この猪全滅作戦から学ぶことは、目的と目標を明確にすること。目標を達成する戦略を緻密に計画すること。手引書を作って、社員に周知徹底させること。そして力強く実行に移すこと。これらが「将軍の術」、つまり社長の経営術です。

ちょっと
気になる出来事

2月16日(木)、東京都印刷工業組合主催セミナー「ランチェスター経営『弱者の戦略』で勝つ」で講演をさせていただきました。

参加された印刷業の社長たちの感想。

「やるべき事の整理ができた。強者・弱者の戦略の違いがわかりやすく、日々の営業活動の参考になった」。

「とてもわかりやすかったです。4月からの経営計画のヒントになりました」。

「ランチェスターというものの考え方の一端がわかったような気がした。自分の現在の悩みに対して参考になった」。

「話の内容も聞きやすく、思っていた事、やるべき事、悩んでいた事などが少しスッキリした感じがする」。

ランチェスター経営は中小企業に、わかりやすく、やれば必ず成果が得られます。引き続きランチェスター経営を通して、元気を発信していきます。



一口メモ
知識

市場ポジショニング

企業が進出するセグメントを決定したら、次にそれらのセグメントでどのようなポジションを占めようとするのかを決めなくてはならない。

製品のポジションとは、自社の製品が消費者の頭のなかで、競合他社の製品との関係において相対的に占める位置のことである。製品が市場にある他の製品とまったく同じであると認識されれば、購入する理由はなくなる。

市場ポジショニングとは、標的する消費者の心のなかに、競合する製品と比較して、明確で、独自の、望ましい位置を自社の製品に確保するよう調節することである。そのため、マーケターは自社の製品を競合ブランドと区別し、標的市場において最大の戦略的優位性がもたらされるようなポジションを計画する。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「マーケティング原理第9版」より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

